

の果物や様々な産地として知られています。今日は、協議会参加校インターアクトクラブがそれぞれ活動してきたことを報告しますが、この機会を参考として行こうと思います。また協議会終了後には、どうぞ自然豊かな町を散策して下さい。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

■美濃加茂ロータリークラブ会長 藤吉 紀美 様



◇皆さん、お早うございます。美濃加茂ロータリークラブ会長の藤吉でございます。日頃は何かとお世話になり有難うございます。本日は、当クラブがスポンサークラブとして、美濃加茂高校がホストを務めさせて頂き、第33回岐

阜県中・東濃地区インターアクト協議会へ、ご出席頂き誠に有難うございます。各校、関係者各位の皆様、各地域でご支援して頂いていますロータリークラブメンバー様ようこそ美濃加茂へお越し下さいました。心より歓迎申し上げます。私ども、美濃加茂ロータリークラブは、普段、美濃加茂高校 IAC の皆さんと、汗を流しての活動奉仕作業と一緒にさせて頂いています。また、IAC 部のインターアクト事業の支援させて頂いています。今日は皆さんのクラブ活動の報告を楽しみにやってきました。クラブ滑動も、時には大変なこともあります。きっと、これからの人生の為に役立つことと思っております。どうぞ皆さんこれからも楽しく、元気に、明るく、インターアクト活動に励んでいただきたいと思います。本日は、皆さんどうぞ宜しくお願い致します。

■美濃加茂高等学校校長 赤崎 耕二 様



◇皆さん、お早うございます。ホスト校の校長として一言ご挨拶を申し上げます。今日は、この美濃加茂の地へお越し頂き、誠に有難うございます。本日は第33回岐阜県中・東濃地区インターアクト協議会に当たり、国際ロータリー第2630地区

の各ロータリークラブの会員様をはじめ、各6校のインターアクトの生徒の皆さん、早くからお集まり頂きまして本当に有難うございます。ロータリーのインターアクト部門の方々と、各学校の顧問の先生方のご協力を受けてご指導して下さいていることと思っております。皆さんご存知のようにインターアクト部はロータリークラブにより、提唱された12歳から18歳までの青少年、又は、高校生の為の社会奉仕クラブであります。国際交流におきましては、互いの理解を深めるためには、必ずしも英語が堪能でなくても、コミュニケーションを道具として、相手の国の事をよく理解し、自分の国の歴史、文化に誇りを持ち交流することがのぞましいと考えます。

皆さんが、それぞれの学校で日頃活動している活動を続けることが大きな原動力となって行くのです。本日のインターアクト協議会が皆さんにとって、有意義な会となります事を祈念致しましてご挨拶とさせて頂きます

■来賓のご挨拶

国際ロータリー第2630地区青少年奉仕部門

インターアクト部門副委員長 塚本 直人 様



◇皆さん、こんにちは。インターアクト部門副委員長を務めさせて頂いています塚本直人と申します。本日は第33回岐阜県中・東濃地区インターアクト協議会開催おめでとうございます。ホスト校の美濃加茂高校様、

スポンサーの美濃加茂ロータリークラブ様有難うございます。一言ご挨拶させて頂きます。私も33年前高山の斐太高校でインターアクトの部員でした。時代も変わりまして、外国人が本当に多くなりまして、先程校長先生が言われたようにコミュニケーションを図る事が大切となります。インターアクトも、こうして心を開いてボランティア活動を通し意識向上を目指し、世界を見る目を養って頂きたいと思っております。2020年には受験の仕方も変わって来ます。ですから、若い皆さんには、日本の将来に掛かっていることは間違いありません。今日の活動報告を聞かせて頂いて、自分もリフレッシュして行くためにも役に立てて行きたいと思っております。本日は楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。

■講評 国際ロータリー第2630地区青少年奉仕部門

インターアクト部門委員長 布目 美智男 様



◇皆さんご苦勞様でした。只今、各校のお話を聴かせて頂いて、大変感心致しました。各校とも地域とのつながりを大切にしておられる様子がよく解りました。ポリオ募金活動の方も大変、力を入れて下さっています。ほんとに感謝申

上げます。ロータリーではポリオ撲滅も含め様々な支援活動に手を差し伸べています。ポリオは私たち子どもの時代は小児麻痺と言っていました。それに発症しますと中々治りにくい社会的な問題となっていました。幸いポリオワクチンができて日本では発症が確認されていません。しかし、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリア等一部の地域では、撲滅されていません。これからもご理解ご協力を宜しくお願いします。皆さんが良いことをしている活動報告をもっと色んな方たちに知って頂きたいと思っておりますので、ホームページを活用し頂きたいと思っております。韓国交流では、来年もこの地区から募集いたしますので一度も韓国派遣をされていない高校には是非、是非、参加応募して下さい。また、ロータリーでは、海外派遣交換学生と言う事業があります。これは、1年間に渡った留学で、海外からの派遣学生の受け入れもします。ボランティア活動は、様々な方たちと関わる機会が多くあり、それによって得る人間形成の場ともなります。これからも皆さんが、学校のリーダーとして、チームリーダーとして、益々活躍されることを祈念しております。今日は有意義な本協議会に出席させて頂き有難うございました。これで講評を終わらせていただきます。